



社教女性連絡協議会長
田中 雄子さん
(国府町桐谷)

深めよう地域の絆 願いは安心して暮らせるまち

次代を担う子どもたちが安心して暮らせるまちづくりに、行政だけでなく地域や市民が一体となった取り組みができることを願っています。また、昔から受け継がれてきた暮らしの知恵や文化を伝承していくことも大切なことで、お年寄りが地域に必要とされることが生きがいづくりにもつながると思います。

合併直後はいろいろ戸惑うこともありましたが、市外の親せきが満天の星空に感動する姿を見て、今まで気づけなかった高山のよさも再発見しました。



町内会連絡協議会長
前越 哲夫さん
(花里町2)

重要になる町内会の役割 伝統や文化を守る大切さ

129だった単位町内会が合併により当時一挙に300を超えました。協議会の役員として月1回のペースで合併調整会議に参加していたことを思い出します。

まちづくりは行政のみならず、地域全体が力を結集して取り組むことが大切で、町内会の役割は一層重要になってきています。町内会のみなさんの地域の伝統、そして文化を守る地道でたゆまぬ努力に敬意を表します。当協議会でも防災や環境をテーマにした研修会などを開催して意識の啓発に努めていきます。

INTERVIEW ● ふるさとへの私の思い あなたの願い

「帰ってきてよかった」と 言えるふるさとに



東山中学校2年
上田 愛さん
(三福寺町)

「いつかは高山に帰ってくる」これは私の将来の希望です。大学進学などで一度はよその土地に行くかもしれませんが、必ず戻ってきたいと思っています。

都会は時にうらやましくも感じるがありますが、登下校時に見える美しい乗鞍岳の山並みや道ばたの草花は、都会では見ることのできない高山の宝です。これらを今のまま残していきたい、そして「やっぱり高山に帰ってきてよかった」と言えるふるさとであってほしいと願っています。

見極めていきたい 変えてはいけない地域の財産



地域審議会協議会長
大宮 昌夫さん
(久々野町久々野)

合併は市民にとって初めての体験でしたが、あっという間の5年というのが率直な感想です。

旧町村の枠を超えた連携も徐々に進んでいますが、少子高齢社会にあって、次の世代が住み継いでいける生活環境の整備や地域の絆づくりは大きな課題です。

合併前と比べ社会情勢も大きく変わってきています。私たちには今、地域課題をどう考え、いかに行動していくかが求められていると思います。変えてはいけない地域の財産も見極めていきたいですね。